

小型無人航空機(UAV)「飛鳥」による洋上長距離自律飛行 104km の達成について

令和4年3月28日
指定鯨類科学調査法人
一般財団法人 日本鯨類研究所

当研究所がかねてから開発を進めてきた VTOL-UAV「飛鳥」は、鯨類調査の新たな手法の研究のため、調査船に搭載し、極地を含む世界の海洋における鯨類航空目視調査などに活用することを計画しています。令和4年4月からは鯨類調査への実践投入を開始します。

本年3月24日に実施した飛鳥の予備飛行において、これまで報告の無い104kmにも及ぶ長距離の自律飛行に成功しましたのでお知らせいたします。

記

日時： 2022年3月24日

海域： 宮城県塩釜市沖の仙台湾内

実験者： (一財)日本鯨類研究所

使用機体： VTOL-UAV (垂直離着陸・自律型無人航空機)「試製・飛鳥 改四二型」
(翼長 3.2m・離昇重量 23kg・全電動機)

記録： 調査船上からの離発着と 104km に及ぶ自律飛行 (日本新記録* 弊所調べ)

成果：長距離自立飛行を達成により、調査船が入ることのできない浅瀬や漁具の多い海域さらに海氷域を広くカバーすることにより、さらなる資源調査の精度向上が期待されます。

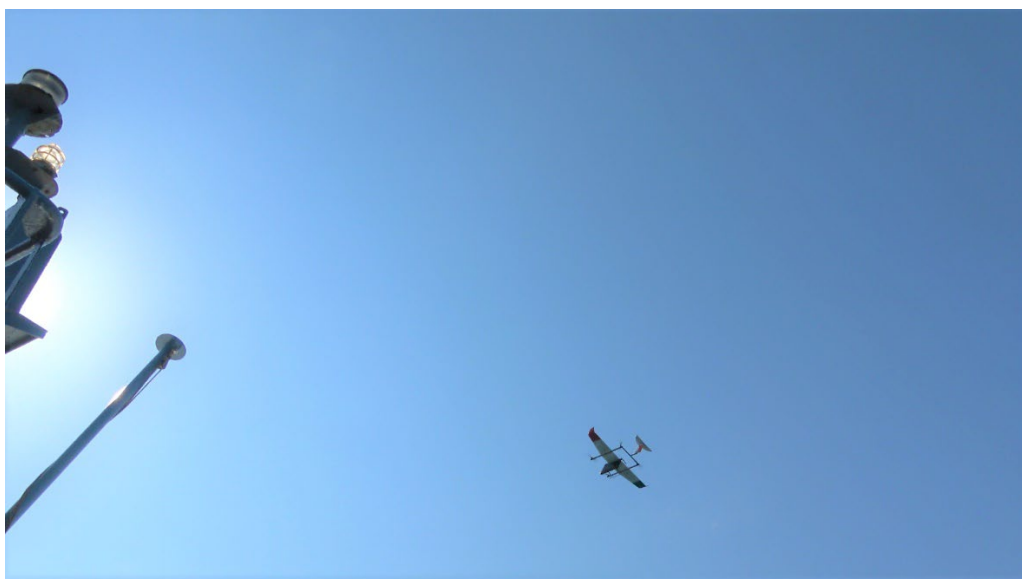


図1. 2022年3月24日、104km自律飛行後、調査船へ帰還する飛鳥。



図 2. 飛行中の飛鳥。



図 3. 飛行中の飛鳥。



図4. 調査船に帰還する飛鳥。

(一財) 日本鯨類研究所における鯨類目視調査の取り組み

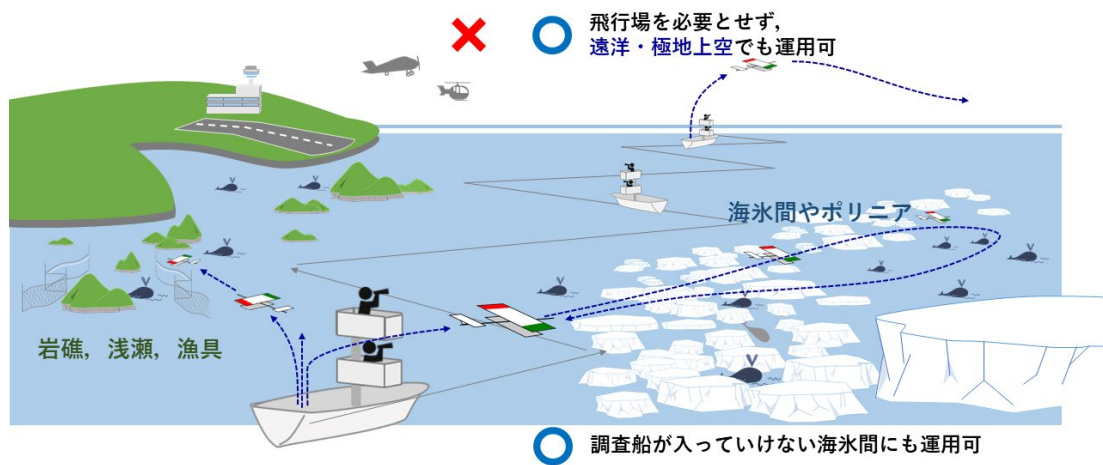


図5. 鯨類資源調査における UAV 活用イメージ。

お問い合わせ先：

一般財団法人 日本鯨類研究所

TEL：(03) 3536-6521 (代表)

TEL：(03) 3536-6523 (広報室直通)

担当：吉田、松岡、久場

以上